

**石神井川上流地下調節池工事に伴う準備工事（その３）
工事説明会（オープンハウス形式）**

〔議事要旨〕

１．開催概要

日 時 ①令和 7 年 3 月 2 日（日）10 時 30 分～16 時 30 分
 ②令和 7 年 3 月 5 日（水）16 時 00 分～19 時 30 分

場 所 武蔵野市立千川小学校 体育館

２．説明内容

- １）石神井川を取り巻く状況
- ２）全体事業概要
- ３）準備工事の内容（動画・パネル）
- ４）シールド工事の疑問に答える動画（動画・パネル）

３．主なご質問・ご意見等と都の回答（要旨）

【今回実施する準備工事について】

質問① 樹木の支柱として設置するワイヤーは来園者に対して安全なものでしょうか。

回答① ワイヤー支柱には安全対策として保護カバーをします（工事後も残置）。

質問② 工事中、埃が立つ作業はありますか。

回答② 地面を掘った際には、天候によって埃が立つ場合があるので、必要に応じて散水し、出来るだけ埃が立たないようにします。

質問③ 搬出入路部に設置する敷鉄板は、次の本体工事までずっと敷いてありますか。

回答③ 今回の準備工事での重機の搬入時と搬出時のみ、敷鉄板を設置します。

質問④ 重機移植の公園内の移植先はどこで、また、１日に何本移植できますか。

回答④ 移植先は、原っぱ広場とテニスコート北側で計 4 箇所としています。（説明会資料 P14 参照）。また、重機移植は１日に 1 ～ 2 本程度と見込んでいます。

- 質問⑤ 通常移植と重機移植を同時に行うことはありますか。
- 回答⑤ 安全管理上、支障がない場合は同時に作業を行います。
- 質問⑥ 移植先の樹木同士の間隔は生育上悪影響になるぐらい狭くならないですか。また、移植先の樹木配置は広場利用を考えて、もっと広場の外側に寄せられないですか。
- 回答⑥ 移植後の樹木間隔は、樹木の生育に必要な距離を確保します。移植先は来園者に配慮し、極力、広場の外側にしています。
- 質問⑦ 移植重機は工事で使用しないときはどこに置いておきますか。また、作業箇所です子どもが中に入らないように気をつけてほしいです。
- 回答⑦ 移植重機は、重機組立エリア（現在の芝広場（月待台）付近）に設置する仮囲いの中に置いておきます。なお、作業中は交通誘導員を配置するとともに、作業時間外は仮囲いを設置することで、来園者が作業箇所に入れないようにします。
- 質問⑧ 事業箇所範囲の正面口側と南口側にあるサクラ、ハナモモは移植対象ですか。
- 回答⑧ 正面口側にあるサクラは、今後の工事で支障とならないため残します。南口側で前回の工事で幹巻きを行ったサクラ 1 本は移植し、ハナモモは調査の結果から老木で移植に適さないと判断し、撤去することとします。
- 質問⑨ 樹木は移植によってどのくらい枯れるリスクがありますか。
- 回答⑨ それぞれの現場状況により異なるため、具体的な数値を出すことは困難ですが、枯れるリスクの高い樹木については、重機移植を採用することで、できる限り樹木への負担を低減することが可能と考えています。
- 質問⑩ 工事広報板の設置位置はどこになりますか。
- 回答⑩ 重機組立エリア（現在の芝広場（月待台）付近）に設置する予定です。
- 質問⑪ 工事中、週間工程表や通行可能な範囲（う回路）について、わかるように現地に掲示してほしいです。
- 回答⑪ 来園者へ工事の状況をお知らせするため、週間工程表は公園内の掲示板と工事広報板付近に掲示します。また、通行可能な範囲（う回路）の案内は公園内の掲示板に加え、作業箇所付近に掲示します。
- 質問⑫ 工事中の仮囲いの中に紙飛行機等が入ってしまったら、どうすればよいでしょうか。
- 回答⑫ 作業員がいる時は声掛けしていただければ、対応します。作業員が見つからない

場合は連絡先を現地に表示しますので、そちらにご連絡をお願いします。なお、休日・夜間は職員等がないため、ただちに対応はできません。申し訳ありませんが、作業範囲から離れて公園利用願います。

質問⑬ 準備工事中、公園内で利用できない施設や通行できなくなる場所がありますか。

回答⑬ 準備工事中、健康遊具は周辺で作業を行う際に利用できない期間がありますが、そのほかのすべての施設は利用可能です。通行できなくなる場所は、工事中常に仮囲いを設置する重機組立エリア（現在の芝広場（月待台）付近）、作業工程ごとに仮囲いを設置する移植先・移植元の作業箇所の周辺、オレンジネット・カラーコーン・バー等で囲う重機運搬経路になります。なお、重機運搬経路の途中には、来園者の利便性を考慮し、横断路を設けます。

質問⑭ 園児が南側駐車場から公園に出入りしますが、工事車両が通って危険な状況にはなりませんか。

回答⑭ 園内を工事車両が通行する際は、最徐行の徹底や、交通誘導員による誘導を実施することで、来園者の安全を確保します。

質問⑮ 学校のイベントなどで通学時間が変わる可能性があるので、その際は工事車両の通行時間の変更など、できる限り配慮してほしいです。

回答⑮ 近隣の小中高校へは、登校時間の変更について連絡していただければ、できる限り配慮することを説明しています。

質問⑯ この準備工事が終わったら仮囲いはなくなって、広場（月待台）周りは開放されますか。

回答⑯ 準備工事完了時に仮囲いは撤去しますので、広場は開放する予定です。ただし、月待台周りは芝生をはがして平らになります（今後、本体工事を予定しているため、現在盛り上がっている部分の復旧は行いません）。

【今後実施する本体工事について】

質問⑰ トンネル工事期間中、来園者は正面口のどの部分を通ることができますか。また、来園者への安全対策はどのように行う予定ですか。

回答⑰ 詳細な施工計画は、本管トンネル工事が契約になったのちに検討の上、ご説明しますが、設計の段階では以下の想定としています。

- ・トンネル工事の際は、正面口通路の南側を工事用搬出入路として使用し、来園者は通路の北側を通行
- ・来園者の安全確保のため、工事用搬出入路の正面口側に交通誘導員を配置

- ・テニスコートと公園サービスセンターの間には歩行者横断路を設け、工事車両が通行する際は交通誘導員が来園者を安全に誘導

質問⑱ トンネル工事で陥没事故が起こる危険性についてどう考えていますか。

回答⑱ 今後実施する本管トンネル工事については以下のことを想定しています。
一つ目は、トンネル掘進箇所は、これまでの調査の結果から固い粘性土を含む様々な地層が折り重なった状態で、自立性が高く固い地層であること。
二つ目は、本管トンネル工事では泥水式シールド工法という工法を選定し、泥水圧や土砂取込み量等を適切に管理することで、陥没につながるような土砂の取り込み過ぎを防ぐこと。
これら二点のことから、本管トンネル工事において陥没の恐れはないと想定しています。なお、トンネル掘進中は、地表面の変動の有無を常時計測するとともに、監視員が徒歩で地上部を巡回しながら、工事を進めます。

質問⑲ トンネルが整備された後、何年使うことが出来そうですか。

回答⑲ 毎年の施設点検と、5年に一度の健全度調査を実施し、トンネルの状態を把握した上で必要となる補修を適切に行うことで、100年間の機能保持を目指します。

【一連の調節池工事全般について】

質問⑳ 不発弾探査はなぜ実施するのですか。

回答㉑ 武蔵野中央公園は過去の戦争で空襲があった地域であることから、地面を掘って工事を進める前に、不発弾がないか探査を行い、安全を確認した上で工事を行います。

質問㉒ 不発弾について心配なので、十分な調査を実施してほしいです。

回答㉒ 準備工事では、樹木移植は比較的浅い場所を掘ることから、工事前に樹木移植先の水平磁気探査を行い、安全を確認した上で工事を実施します。今後の本管トンネル工事では、作業箇所全体の水平磁気探査に加え、深い掘削を伴う箇所で鉛直磁気探査を行った上で安全を確認し、工事を実施します。

質問㉓ 武蔵野北高校の登校時には相当数の自転車が走っているので、安全対策を十分行ってほしいです。

回答㉓ 登校時間に配慮し、工事車両は8時30分以降に入場することとします。また、交通誘導員を適正に配置するなどの安全対策を行います。

質問㉔ 工事車両の路上待機や、南側の道路（市道55号）や伏見通りの西側道路への工

事車両の進入を控えてほしいです。

回答②③ 路上での待機や市道 55 号に工事車両が通行することはありません。本体工事における工事車両の通行ルートについては、西側道路の通行有無を含め、工事契約後に行う工事説明会にて説明します。

質問②④ 伏見通り沿いに住んでおり、通行車両の騒音を気にしています。工事ではどのくらいの台数が通行しますか。また、伏見通りに渋滞や待機車両が発生しませんか。

回答②④ 今回の準備工事における車両台数は、重機組立エリア整備時が最大となる予定であり、一日当たり 20 台程度です。今後実施する本管トンネル工事の際は、最大で一日当たり約 450 台が通行する想定です。なお、これまでの検討から渋滞は発生しないと判断しています。また、待機車両対策については、本管トンネル工事が契約になったのち、詳細な施工計画を策定する中で対応を検討の上、工事説明会にて説明します。

質問②⑤ 調節池整備後に、移植した樹木は元の位置に戻しますか。

回答②⑤ 移植した樹木の取り扱いについては、今後管理者と詳細を調整する予定です。

【調節池事業全般について】

質問②⑥ 今回の準備工事が終わった後、次の工事はいつから着手して、工事はいつまで続きますか。

回答②⑥ 本管トンネル工事は、令和 7 年度中に着手する予定です。すべての工事は令和 17 年度に完了する予定です。

質問②⑦ 今回の地下調節池事業の総事業費を知りたいです。

回答②⑦ 1,310 億円です。

質問②⑧ 河川整備計画によると、護岸整備も行うとのことですが、現在の南町調節池等があるのに、さらに調節池が必要なのですか。

回答②⑧ 平成 28 年 3 月改定の石神井川河川整備計画において、近年の豪雨の増加を踏まえ、整備水準を年超過確率 20 分の 1 の規模の降雨（1 時間あたり 75 ミリ）に引き上げました。この整備水準に対応するためには、既存の南町調節池等に加え、護岸整備とともに石神井川上流地下調節池の整備も必要です。
また、石神井川上流地下調節池を整備することで、護岸が未整備の上流域における洪水時の水を貯留することが可能になり、上流域での護岸整備を進めることができるようになるなど、早期に治水安全度向上を図ることが可能となります。

- 質問②⑨ 1 時間あたり 75 ミリ降雨対応について、流域対策で対応する雨量（時間あたり 10 ミリ分）をさらに増やせば、調節池の 15 ミリ分を減らすことが出来るのではないですか。
- 回答②⑨ 東京都豪雨対策基本方針（令和 5 年 12 月改定）において、対象となる豪雨に対して河川、下水道、流域対策の役割分担が定められ、それに基づき、それぞれ関連事業を進めています。
- 質問③⑩ この調節池が完成すると石神井川での整備はすべて完了することになりますか。
- 回答③⑩ 現在の河川整備計画で目標としている年超過確率 20 分の 1 の規模の降雨（1 時間あたり 75 ミリ降雨）に対応する治水施設は、本調節池のみではなく、今後も実施が必要な河道整備や、他の調節池の整備が含まれています。
- 質問③⑪ 本事業の地元への周知が十分ではないと思います。
- 回答③⑪ 周辺地域の皆様への説明会開催のお知らせ配布、市報への掲載、公園内の掲示板への掲示、対象市や北多摩南部建設事務所ホームページでの情報提供等の様々な方法で周知を行っています。引き続き、適宜情報発信を行ってまいります。
- 質問③⑫ トンネルルートは道路下や公園内を選んでおり、工事影響などを踏まえても問題ないと考えています。一方で工事について心配している人もいますので、これからも丁寧に説明をお願いしたいと思います。
- 回答③⑫ 今後とも適宜情報発信を行ってまいります。

以上